

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 生涯にわたる多様な学習機会の拡充			
1 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■成人式：参加者119名（参加率79.3%） ■すこやか大学講座の実施 学生321人 陶芸教室、クラブ活動の実施 ■社会教育委員会の開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令などにより制限がある中、書面やリモートなどの活用により、実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症拡大期における各講座の取り組み方法の検討 ■成人式のありかた変更（成人年齢引き下げのため）
2 社会教育活用施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育活用施設の管理運営（由良地区、日ヶ谷地区、上宮津地区、養老地区） ・社会教育活用施設利用許可件数 合計2,153件 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の利用制限がある中、気軽に利用できる生涯スポーツ施設として利用件数が増加した。 ■地域住民の身近な生涯スポーツ施設として定着が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の老朽化
3 公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地区公民館の管理運営 ■各地区公民館事業の実施、支援 ■中央公民館事業の実施：1回 ■市民実践活動センターへの中央公民館指定管理実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令などにより制限がある中、感染予防に努め、実施することができた。 ■各地区毎に地区住民の学習ニーズ等を踏まえ、文化講座、講演会、健康づくり、スポーツ大会などを実施することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症拡大期における活動方法の検討 ■人口減少に伴う活動方法の検討 ■施設老朽化
4 図書館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市立図書館協議会の開催 2回/年 ■図書館の管理運営 ・地域高校生連携事業の拡大 ■「はまなす文庫」（移動図書館車）の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の利用制限がある中、前年度蔵書の充実が図れた。 ■図書館利用者の拡大を図るため、高校生による図書展示のコーナーを設置し、中高生の利用促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続 ■図書館ボランティアの拡大
② 人権教育・啓発の推進			
5 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■視覚聴覚障害者成人講座：コロナにより中止 ■障害者青年学級の開催 23回/年 参加者延べ156名 ■人権教育講座、企業人権教育推進協議会への支援 ■人権問題研修会の開催 2回/年 参加者131名 ■人権カレンダーの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症が拡大する中、各種講座を中止した。 ■制限がある中、青年学級については、予防対策を図りながら、交流、学習の機会を提供した。 ■新型コロナウイルス感染症を拡大する中、研修会、各地区公民館の講座等の開催が中止、縮小された。 ■市の広報誌に人権コーナーを設け、毎月人権に関わる記事掲載することにより市民への人権啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続 ■指導者の後継者育成 ■各種事業への参加者の増加（固定化・高齢化） ■新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続 ■多様化する人権問題への対応

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
③ 家庭や地域の教育力の向上			
6 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■青少年問題協議会の開催 1回/年（書面会議） ■青少年健全育成事業 子どものびのび体験活動 6回/年 参加者延べ201名 （陶芸、工芸、料理教室等） わくわく星座教室 中止 夏休みおもしろ体験教室 12人 ■中学生の主張大会：来聴者71名 	<ul style="list-style-type: none"> ■家庭教育啓発リーフレット（乳幼児期）を作成し、乳幼児健診時に配付することにより、子育て時における家庭教育の啓発を図った。 ■家庭教育啓発チラシを作成し、夏、冬休み前に、幼稚園、小中学校保護者に配布し啓発を行った。 ■中学生が日頃考えていることをまとめ、発表する機会として実施し、市民への中学生の考えを理解する機会とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながらの取り組みの継続 ■家庭教育研修への参加者の増加
7 地域学校協働活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地域学校協働活動推進委員の配置 宮津学院2名 栗田学院2名 ■推進員連絡協議会、研修の実施 3回 ■地域学校協働活動の実施 宮津学院 12回（そろばん学習支援など） 栗田学院 32回（図書室整備、読み聞かせなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会と連携を図り、地域学校協働活動が実施できた。 ■宮津学院、栗田学院にそれぞれ、地域と学校の連携を図る推進委員が設置できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会の議論を踏まえた地域学校協働活動の実施 ■北部4小学校への推進員の配置
④ ふるさとみやづ学の構築			
8 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■すこやか大学第5講座（歴史講座）の実施：参加者41名 ■ふるさとみやづ学～高校生立志編～の開催：参加者22名（宮津天橋高等学校生徒11名、海洋高等学校生徒10名） 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種年代層に「ふるさとみやづ」を考える学習活動を展開することを目的に事業を実施した。 ■市内高校生に高校生らしい視点で、「ふるさとづくり」「地域づくり」などの学習を行うことを目的に、市長との座談会を実施し、高校生の考えをまとめ、市長に提言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■各地区公民館活動の中でのふるさとみやづ学の展開 ■高校生との連携の強化

【総括】	<p>○生涯にわたる多様な学習機会の拡充 公民館活動を中心に、各種生涯学習事業の実施を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、利用制限を行ったことから、昨年に引き続き活動が低調となったが、様々な工夫で、事業が実施できた。</p> <p>○人権教育・啓発の推進 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、利用制限を行ったことから、活動が停滞した。</p> <p>○家庭や地域の教育力の向上 地域学校協働活動の推進を図ることを目的に、地域学校協働活動推進委員を委嘱し、学校運営協議会と連携した活動が展開できた。</p> <p>○ふるさとみやづ学の構築 宮津への理解と愛着を深めていくための「ふるさとみやづ学」を構築するため、高齢者大学、図書館講座、公民館事業にふるさとみやづをテーマにした講座等を実施する予定であったが、一部の実施にとどまった。しかし、高校生を対象に高校生が考えるふるさとみやづへの提言等を行う高校生立志編を新たに実施した。</p>
-------------	---

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実			
1 教育委員会活動費／教育委員会事務局経費	<ul style="list-style-type: none"> ■教育委員会：14回／年 ■総合教育会議：1回／年 ■教育研究協議会：2回／年 	<ul style="list-style-type: none"> ■総合教育会議における教育振興計画の進捗状況等の確認 ■教育委員会事務事業点検評価の実施 	
2 私立幼稚園振興助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ■私立幼稚園振興補助金：12人 ■施設等利用費等（無償化分）：33人 ■実費徴収に係る補足給付：12人 	<ul style="list-style-type: none"> ■私立幼稚園教育の振興と保護者の経済的負担の軽減 	
3 幼稚園・小学校・中学校管理・教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園2園、小学校6校、中学校2校 ■小規模校における児童のより良い教育環境の確保 ■特別支援教育支援員配置(小10人・中4人) ■漢字検定料(小223人)、英語検定料補助(中183人) 	<p>[R7目標]全国学力・学習状況調査における教科に関する調査の平均正答率:常に全国平均と京都府平均を上回る状況にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公立幼稚園入園児数:41名(R2:33名) ■通常学級に在籍する要配慮児童等への教育支援充実 ■全国学力・学習状況調査の正答率： R4 市(全国・京都府) <p>小6 国語 62.0(65.6・68.0) 中3 国語 70.0(69.0・69.0) 算数 59.0(63.2・65.0) 数学 51.0(51.4・52.0) 理科 61.0(63.3・64.0) 理科 54.0(49.3・49.0)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■公立幼稚園入園児童数の増加に向けた取組が必要 ■R3.4月～公立幼稚園で給食を開始 ■日置小学校・養老小学校のより良い教育環境を確保するため、学校再編を引き続き協議していく必要がある ■児童生徒の学力向上に向けて、引き続き、対策の強化を図る必要がある
4 スクールバス運行・購入事業／遠距離通学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の安全確保のためスクールバス(9路線)の運行 ■公共交通機関利用児童生徒への遠距離通学費補助金支給 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の通学時の安全確保が図られた ■生活交通の確保が図られた 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の安全な通学手段の確保等を図るため、引き続きスクールバス運行に努める必要がある ■地域の福祉有償運送等の活用を検討する
5 就学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> ■新入学学用品費の入学前支給の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■就学援助により経済的理由による非就学児童生徒は発生していない 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの貧困対策の一環として、事業の継続的な実施が必要である
6 宮津の新たな学び創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育フォーラムの開催 ■小中一貫教育、課題解決型学習、ICT利活用の実践研究「未来を拓く学校づくり推進事業」R元～R3 ■「学びの深化プロジェクト」R3～R4 ■「絆の作り手育成プログラム」R3～R5 ■高校との連携推進（英語教育、ふるさとみやづ学等） ■家庭学習用モバイルルーター購入（100台） ■算数学び定着サポーター兼ICT支援員の配置 ■タブレット用学習ソフト、プログラミングソフト等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■小中一貫教育の推進と学力向上プランに基づく取組の展開 ■宮津市版教科・領域等カリキュラムに基づいた指導 ■1人1台タブレット端末を活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの実現に向けた授業改善 ■家庭でのオンライン学習など臨時休校時における学習保障 	<ul style="list-style-type: none"> ■推進基本計画及び学力向上プラン、教科・領域等カリキュラムに基づく認知能力・非認知能力を一体的に育む教科指導等のさらなる充実が必要 ■府研究指定事業等の成果について学校間で共有し横展開を図る ■ICTを活用した新たな学びの構築、活用方法の検討・実証、家庭での反転学習への活用
7 英語指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ■英語指導助手配置(小学校)：1名 ■英語指導助手配置(中学校)：1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■全幼稚園・保育所等への共通した国際理解教育の提供 ■英語指導助手の生の英語授業による児童生徒のリスニング能力の向上、外国人とのコミュニケーション能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人観光客対応も含め、市民全体の国際理解強化を図る必要がある ■英語活動、英語科の指導の充実に向けて、教員の英語力向上を図る必要がある

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
8 学校給食運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園給食の開始 ■民間委託によるセンター方式給食の実施 ■宮津市学校給食委員会の開催 ■センター方式を導入した学校の給食費の公会計による管理 ■学校給食食材調達登録制度の運用と食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■中学校給食及び民間委託によるセンター方式給食の継続実施(小学校4校、中学校2校) ■アレルギー対応マニュアルの改正 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度から一部公会計化した学校給食費保護者負担金の債権管理
9 のびのび放課後クラブ事業	<ul style="list-style-type: none"> ■直営クラブ1箇所(宮津) ■民営クラブ3箇所(吉津、府中、栗田) ■吉津小学校校舎内での開設、法人委託の開始 ■R4.4～宮津のびのび民間委託に向けたプロポーザル 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校敷地内運営施設数：4箇所 ■直営クラブ：定員112名→実利用児童数120名 ■民営クラブ：定員105名→実利用児童数62名 	<ul style="list-style-type: none"> ■直営クラブについて民間委託を検討
10 新型コロナウイルス感染拡大防止事業(学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染拡大防止対策(マスクや消毒液等の保健衛生物品、CO2センサー等の備品整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ■小中学校及び幼稚園において新型コロナウイルス感染症対策が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の継続
② 夢・志・豊かな感性を持った人づくり			
11 こころのまど・ひろば運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■教育相談室「こころのまど」 ■適応指導教室「こころのひろば」 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の居場所づくり、登校支援実施 ・R3 不登校児童生徒の出現率：小1.79% 中3.83% 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の学校復帰及び社会的自立に向けた継続的な取組が必要
12 いじめ防止対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの認知件数(小221件・中55件) 解消：小140件・中25件/解消に向け取組中：小81件・中30件 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための継続的な取組が必要

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
③ 地域と一体となった学校づくり			
13 地域と学校の連携・協働推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津学院 学校運営協議会 7回 <ul style="list-style-type: none"> ○マラソン大会安全監視ボランティア(宮津小) ○そろばん学習の学習支援(宮津小) ○1年フィールドワーク・3年地域おこし講話(宮津中) ■栗田学院 学校運営協議会 6回 <ul style="list-style-type: none"> ○図書室環境整備(栗田小) ○読書ボランティアによる読み聞かせ(栗田小・中) ○運動会・体育祭前のグラウンド除草作業 ○陸上大会・駅伝大会に向けた技術指導 ○コミスクだよりの発行 ■吉津小学校 学校運営協議会 4回 <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員と教職員の懇談 ○地域探検 ○運動会での太刀振りの取組 ○チューリップ植え、田植え～稲刈り 等 ■府中小学校 学校運営協議会 5回 <ul style="list-style-type: none"> ○グラウンド除草、花いっぱい運動 ○あいさつ運動・標語募集 ■日置小学校 学校運営協議会 5回 <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員と教職員の懇談 ○読み聞かせ ○こんにやく作り(芋掘り～完成まで) ○味噌づくり、地域探検等 ■養老小学校 学校運営協議会 4回 <ul style="list-style-type: none"> ○アカモクの種付け～収穫の取組 ○スポーツクラブ、紙すき体験 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会委員が授業参観や学校行事、取組等で学校に足を運ぶ回数が増え、児童生徒に接することで、会議での積極的な発言も出てきて、学校運営協議会の意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校(教職員)及び地域(運営協議会委員)に負担がかからない取り組み、持続可能な取り組み。

【総括】	<ul style="list-style-type: none"> ○質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育では、「小中一貫教育推進基本計画」、「学力向上プラン」、「宮津市版教科・領域等カリキュラム」に基づいて、基本方針の具体化と教育施策の明確化、各教科の指導内容の共有化を図るなど、認知能力・非認知能力を一体的に育む取組を進めることができた。 ・ICTを活用した学習意欲の喚起や個別最適な学びと協働的な学びを推進することができた。 ・家庭でのオンライン学習の実施など、臨時休校時等における学習の保障が可能となった。 ・学校給食運営事業では、食育の推進及び平成30年度2学期からの中学校給食とセンター方式給食等の継続的な運用を行った。 ・就学児童生徒援助事業では、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を継続し、児童生徒の保護者の経済的負担の軽減をさらに拡充することができた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を強化し、児童生徒が安心して学習できる環境を整備した。 ・放課後児童クラブ事業では、令和4年度からの直営クラブの民間委託に向けた公募等を行うとともに、開設時間を引き続き午後7時までに延長し、受け入れ環境の充実を図ることにより更なる保護者の支援につながった。 ○夢・志・豊かな感性を持った人づくり <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談室「こころのまど」、適応指導教室「こころのひろば」を開設し、児童生徒及び保護者等の相談にきめ細かく対応するとともに、近年、増加傾向にある不登校児童生徒の自主性や学習意欲を高め、学校復帰に向かえるよう活動を行うとともに、保護者への支援及び学校との連携を行った。 ・教育相談会・教育支援委員会による就学支援を実施し、小中学校の特別支援教育支援体制の充実を図るとともに、全幼稚園・保育所(園)・小中学校における教育支援計画の作成を行い、支援を必要とする子どものニーズに応じた教育、支援を実施した。 ○地域と一体となった学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールを中心とした地域学校協働活動を展開することにより、地域と学校の連携が図られ、児童生徒の学びが深まるとともに、地域活動の活性化につながった。
-------------	---

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 歴史文化資源の調査・価値づけ・保存			
1 文化財保護・活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財保護審議会の開催 (2回) <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財候補物件の選定・審議等 ■市内新指定等文化財 (R3年度) <ul style="list-style-type: none"> ①宮津市指定文化財 新規指定なし ②京都府指定文化財 新規指定なし ③京都府暫定登録文化財 新規指定なし ■両丹文化財保護連絡協議会 (11/9) <ul style="list-style-type: none"> ・両丹地域の審議会委員、担当者 (約50名) 「文化財保存活用地域計画の考え方」 ■文化財説明板の設置・更新 (1件) <ul style="list-style-type: none"> ・更新 「天長寺子安地藏像」 (字日ヶ谷) ■市内文化財保全事業(所有者実施) 11件 <ul style="list-style-type: none"> ①宮津市社寺等文化資料保全費補助金 0件 ②国宝重要文化財等保存整備費補助金 0件 ③京都府指定・登録等文化財等補助金 4件 ④京都府社寺等文化資料保全補助金 4件 ⑤国・府指定登録文化財等維持管理費補助金 2件 ⑥その他補助金 1件 ■文化財保存活用地域計画の策定 (R2～R5) <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市文化財保存活用計画作成検討協議会 (3回) ・市内文化財の所在地図の作成 ・市内文化資源の各種データベース作成 ■「みやづ歴史紀行」の連載 <ul style="list-style-type: none"> 広報みやづ (月1回発行) に継続して連載 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内新指定文化財 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、十分な調査が行えず、府・市も合わせ新規の文化財指定を行うことができなかった。とくに近年府と協力して進めている府暫定登録文化財の新規指定が行えなかった。今後、過疎化により、今まで地域で守ってきた社寺等の建造物の保全が課題になる、今後も調査・把握を続け、指定登録等の作業を推し進めていく必要がある ■市内文化財の保全事業 <ul style="list-style-type: none"> 所有者が行う文化財の修理事業のコーディネートを実施。府と連携し、多くの市内の貴重な文化資料の保全を図ることができた。また、今まで手がつけられなかった多額に費用を要する美術工芸品修理(1件)を、民間の補助金を活用し2ヵ年事業として着手することができた。 ■文化財保存活用地域計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> 事業2年目として、市内の文献資料の所在、保管状況の把握、図書館所蔵資料等、新規の各種データベースの整理・作成作業等を実施、計画書作成に向けてのデータ整理を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内の未指定文化財の調査と価値付け <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の指定の推進 ・府指定・暫定登録文化財制度の活用 ・市指定文化財のあり方検討と新規指定 ■指定文化財等のランクアップ <ul style="list-style-type: none"> ・府・市指定文化財を国・府指定文化財へ ■文化財保護に係る普及啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ※教育普及や市民ニーズの答えるよう実施 ・歴史講座等の実施 ・ICTを活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ※ (総合的な文化財DBの構築) ■文化財の活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化財を活かしたまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ※ひとづくり(教育) まちづくり(観光等) の視点 ■市内文化財の保全事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・府等の補助制度を活用した市内の文化財修理事業の推進 ・市独自の文化財保全事業補助制度の構築 <ul style="list-style-type: none"> (※市指定文化財修理に対する補助制度など) ■人づくり・まちづくりに資する文化財の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用に係るマスタープラン作成 <ul style="list-style-type: none"> R5 文化財保存活用地域計画の文化庁計画認定 ・学校教育、社会教育、その他との連携協力体制構築
2 市内遺跡発掘調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査の実施 (28年度からの継続事業) <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査、過去調査の遺物整理を実施。 ・現地説明会 (一般)、現地見学会 (府中小学校) の開催 ■開発行為に伴う工事立会 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津城跡など 13件 ■遺跡保護のための開発行為との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> 国府跡を裏付ける明確な遺構を検出することはできなかったが、瓦や墨書土器など奈末良～平安前期の豊富な遺物の出土をみた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・H4以降の調査期間の延長 ・遺跡の価値の証明と保全に関する措置の検討 ・調査成果の普及啓発と活用 ■増大する民間開発 (主に宅地造成) に対する対応 ■国史跡「成相寺旧境内」の保全活用
3 重要文化的景観保護推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■文化的景観検討委員会の開催 (2回) <ul style="list-style-type: none"> ・報告書概要版 (普及パンフレット) について ほか ■文化的景観整備事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし ■宮津地区追加選定に向けた調査報告書概要版等の刊行 <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告書概要版 (普及パンフレット) ・ウォークマップ「宮津城下町マップ」 ■普及啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムの開催 (約60名) <ul style="list-style-type: none"> 「宮津地区の町並みと文化的景観」ほか ・ウォークイベントの開催 (約20名) <ul style="list-style-type: none"> 「ブラミヤツ#8 宮津地区と天橋立」 	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津地区追加選定に向けた調査報告書概要版の作成 <ul style="list-style-type: none"> R2年度に刊行した宮津地区の文化的景観の特質や価値を示した「報告書」の概要版パンフレットを作成。 ■ウォークマップ「宮津城下町マップ」の作成 <ul style="list-style-type: none"> 古地図に現在の街路や名所を上書きした「城下町ウォークマップ」を作成した。 <p>これらのパンフ・マップは、宮津地区追加選定に向けた地域住民の理解を得るための資料であるとともに、宮津市街地のまち歩き資料として、教育活動・観光振興等に使える便利なコンテンツと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市街地地区の追加選定 <ul style="list-style-type: none"> ・保存管理計画の策定 ・地域同意を得るための普及啓発活動、説明会等の開催 ・文化庁への選定申出、景観計画変更等 ■計画的な整備事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・景観まちづくりの視点を持ち対象を誘導

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
② 歴史文化を学び親しむ機会の創出			
4 世界遺産登録推進事業	<p>■天橋立を世界遺産にする会の活動支援</p> <p>①研究及び普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立名勝100年記念式典（約100名） ・天橋立世界遺産講演会（約100名） 「国宝雪舟筆「天橋立図」と文化財の保護継承」他 ・現地視察（智恩寺、成相寺、籠神社ほか） ・天橋立世界遺産講座（京都府立大学・歴史館） 「古代から近代・現代にわたる天橋立の歴史」をテーマに全4回開催（延385名） ・パネル展示「天橋立と世界遺産」展（歴史館） ・世界遺産市民講座（約60名） 「中世都市研究からみた雪舟「天橋立図」」 <p>②機運醸成のためのPR事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連団体、イベントとの連携及びPR活動 ・メディア等を通じたPR活動 ・普及啓発グッズの作成 天橋立名勝100年特別名勝70年啓発のぼりを作成 	<p>■他地域での普及啓発活動</p> <p>令和2年度から、京都府立歴史館（京都市内）で開催している「天橋立世界遺産講座」の参加者も増え、認知が高まってきたと考える。</p> <p>■名勝100年・特別名勝70年記念事業の展開</p> <p>12月の市民一斉清掃より「2022天橋立名勝100年・特別名勝70年」の記念事業や情報発信を市長部局とタイアップして実施。これを期に新聞等メディアの取り扱いが増大。広範囲に天橋立世界遺産登録に向けた機運醸成につなげることができた。</p>	<p>■「顕著な普遍的価値」（OUV）の調査研究と提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府「天橋立世界遺産登録推進会議」への協力 ・学識者による調査研究 ・他地域との交流、情報交換 <p>■世界遺産登録に向けての機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立を世界遺産にする会への活動支援 ・府、近隣他市町、他機関との連携協力の推進
5 重要文化財旧三上家住宅管理運営事業	<p>■指定管理者による管理運営の実施（建物公開）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 NPO法人 天橋作事組 ・自主事業 音楽ライブ、シンポジウム等11種のイベント開催 ・観覧者数 1,599人（R2年度：2,350人） ・文化財等のコンテンツ化 施設リニューアル、照明器具等備品購入、ライトアップ及び夜間開館 	<p>■指定管理者の変更</p> <p>指定管理者が変更（元結屋27→NPO天橋作事組）。P Cの導入による管理事務のD X化が進んだ。</p> <p>■文化財建造物のユニークベニュー活用。</p> <p>未公開であった酒造蔵の整理公開、館内動線の変更、備品購入、ライトアップ施設整備など、今後、市民や観光客が楽しく集う場として活用するための施設整備が進んだ。</p> <p>一方で、コロナ禍のため、十分な集客事業も行えず、入館者数は低調であった。</p>	<p>■文化施設、観光施設としての活用策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の魅力アップ、ユニークベニュー活用推進 ・情報発信の強化 ・大河ドラマ・北前船関連事業との連携等 ・旅行商品の造成、インバウンド対策 <p>■建物の耐震診断、活用も踏まえた大規模修理の検討</p>

【総括】

- 文化財保護・活用推進事業
 - ・「文化財保存活用地域計画」の策定にむけて各種調査とデータ整理を実施、また計画検討のための「協議会」を立ち上げた。R5年度中の文化庁計画認定を目指し今後議論を活性化し、本市の文化財保護活用のマスタープランとして、歴史文化を活かしたまちづくり、人づくりに資する計画にしたい。
- 市内遺跡発掘調査事業
 - ・安国寺遺跡発掘調査においては、年次的に調査事業を実施中。計画期間の見直しや、遺跡の評価、今後の保全策等についても検討を進めていく必要がある。
 - ・安国寺遺跡のほかの市内の重要遺跡についても、発掘調査を計画的・継続的に実施し、遺跡の内容や特質、価値を明らかにし、保全活用に資する資料を蓄積していきたい。
- 重要文化的景観保護推進事業
 - ・普及啓発用として、令和2年度作成の「調査報告書」の概要版及び「城下町マップ」を作成した。これらは宮津地区追加選定に向けた地域住民の理解を得るための資料であるとともに、宮津市街地のまち歩き資料として、教育活動・観光振興等に使える便利なコンテンツと考える。
- 世界遺産登録推進事業
 - ・京都市内で「天橋立世界遺産講座」を開催（4回）、天橋立の価値や魅力、世界遺産登録への機運醸成を図った。
 - ・「2022天橋立名勝100年・特別名勝70年」のキャンペーン事業を展開により各メディアでの取り扱いが増大。記念式典も実施し、広範囲での機運醸成につなげることができた。
- 旧三上家住宅管理運営事業
 - ・管理事務のDX化、ライトアップや備品整備等、施設の魅力向上に向けたリニューアル作業が進んだ。夜間開館や音楽イベント等の実証事業も行った。